

平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年6月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 精養軒

コード番号 9734 URL <http://www.seiyoken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長 (氏名) 清田 祐司

TEL 03-3821-2181

四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年1月期第1四半期の業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	740	△4.7	△24	—	△20	—	△20	—
26年1月期第1四半期	776	6.8	7	—	9	—	4	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第1四半期	△7.51	—
26年1月期第1四半期	1.71	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第1四半期	3,837	2,739	71.4	1,053.01
26年1月期	3,812	2,766	72.6	1,063.70

(参考)自己資本 27年1月期第1四半期 2,739百万円 26年1月期 2,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年1月期	—	—	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において平成27年1月期の配当予想については、中間配当金は未定、期末配当金は未定であります。

3. 平成27年1月期の業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,470	△6.2	△30	—	△20	—	△20	—	△7.69
通期	2,770	△8.4	△160	—	△140	—	△150	—	△57.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年1月期1Q	2,628,000 株	26年1月期	2,628,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年1月期1Q	27,191 株	26年1月期	27,191 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年1月期1Q	2,600,809 株	26年1月期1Q	2,600,809 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2頁「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政権主導による金融政策、財政政策等に支えられ、企業業績が改善傾向にあるなど、景気回復の兆しが見られました。長引くデフレ傾向、厳しい雇用情勢、加えて、平成26年4月の消費税増税による景気減速懸念から、個人消費は依然として不透明な状況が続いております。

飲食業界におきましても、未だ、消費者の低価格志向や生活防衛意識は根強く、食料品消費支出は依然として低迷するなど業界を取り巻く環境は、厳しい見通しとなっています。

このような状況下、当社は、本年3月「中期経営計画142」を発表し、ウェディングプランの拡販、ホームページのリニューアルなど広告宣伝の拡充、新たな商品・新メニューの開発など、営業面の強化に努めております。

しかしながら、2月の記録的な大雪や競争環境の激化、一部店舗の休業により、売上は弱含みで推移しました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は740百万円(前年同期比4.7%減)となりました。営業損失は24百万円(前年同期は営業利益7百万円)、経常損失は20百万円(前年同期は経常利益9百万円)、四半期純損失は20百万円(前年同期は四半期純利益4百万円)となりました。

また、セグメント別の業績につきましては、下記のとおりであります。

#### (飲食業)

飲食業におきましては、上記の理由により、当第1四半期累計期間のレストラン部門の売上高は388百万円(前年同期比7.7%減)、宴会他部門の売上高は340百万円(前年同期比1.2%減)、飲食業全体の売上高は729百万円(前年同期比4.8%減)、営業損失29百万円(前年同期は営業利益2百万円)となりました。

#### (賃貸業)

賃貸業におきましては、安定的な賃貸収入の確保に努めております。この結果、当第1四半期累計期間の売上高は11百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益5百万円(前年同期比17.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ25百万円増加し3,837百万円となりました。流動資産は31百万円増加の1,355百万円、固定資産は6百万円減少の2,481百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が27百万円増加したことによるものです。

固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産が14百万円減少した一方で、無形固定資産が6百万円増加したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末と比べ52百万円増加し、1,098百万円となりました。流動負債は77百万円増加の356百万円、固定負債は24百万円減少の742百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、未払金が16百万円増加と、7月支給分に対応する賞与引当金が33百万円増加したことによるものです。

固定負債の減少の主な要因は、退職給付引当金が21百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末と比べ28百万円減少し2,739百万円となりました。この減少の主な要因は、当四半期純損失20百万円の計上したことによるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想については、当第1四半期累計期間において概ね計画通り推移しているため、平成26年3月14日に公表しました「平成26年1月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」から変更はありません。

なお、当第1四半期累計期間において平成27年1月期の配当予想については、平成26年3月14日に公表しました「平成26年1月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,153,445	1,180,722
売掛金	98,368	97,664
たな卸資産	37,925	43,482
その他	36,214	34,662
貸倒引当金	△1,100	△1,100
流動資産合計	1,324,852	1,355,430
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	768,781	750,480
土地	603,191	603,189
その他(純額)	84,665	89,127
有形固定資産合計	1,456,637	1,442,797
無形固定資産	2,124	8,492
投資その他の資産		
投資有価証券	952,825	954,367
その他	75,763	75,726
投資その他の資産合計	1,028,587	1,030,093
固定資産合計	2,487,348	2,481,382
資産合計	3,812,201	3,836,812
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	53,915	66,405
未払金	87,877	104,270
未払費用	60,383	64,143
未払法人税等	4,018	807
賞与引当金	32,000	65,000
その他	41,425	55,625
流動負債合計	279,617	356,249
固定負債		
退職給付引当金	545,574	524,586
役員退職慰労引当金	103,605	92,780
繰延税金負債	99,544	101,411
その他	17,370	23,107
固定負債合計	766,093	741,884
負債合計	1,045,710	1,098,134

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年4月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	131,400	131,400
資本剰余金	4,330	4,330
利益剰余金	2,446,283	2,418,945
自己株式	△20,496	△20,496
株主資本合計	2,561,517	2,534,180
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	204,973	204,499
評価・換算差額等合計	204,973	204,499
純資産合計	2,766,491	2,738,678
負債純資産合計	3,812,201	3,836,812

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
売上高	776,200	739,982
売上原価	325,490	317,958
売上総利益	450,711	422,024
販売費及び一般管理費	444,096	445,618
営業利益又は営業損失(△)	6,614	△23,594
営業外収益		
受取利息	33	1,266
雑収入	1,894	2,065
営業外収益合計	1,927	3,331
経常利益又は経常損失(△)	8,542	△20,263
特別利益		
固定資産売却益	-	2,513
特別利益合計	-	2,513
特別損失		
固定資産除却損	-	1,336
減損損失	248	-
特別損失合計	248	1,336
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	8,294	△19,085
法人税、住民税及び事業税	3,850	450
法人税等合計	3,850	450
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,444	△19,535



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	飲食業	賃貸業	
売上高			
外部顧客への売上高	765,107	11,093	776,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	765,107	11,093	776,200
セグメント利益	2,125	4,489	6,614

(注)セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間(自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	飲食業	賃貸業	
売上高			
外部顧客への売上高	728,546	11,436	739,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	728,546	11,436	739,982
セグメント利益又は損失(△)	△28,848	5,254	△23,594

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。